

雅ねえの、みんなで取り組む

# 獣害対策講座 Vol.22

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

大崎町のみなさん、あけましておめでとうございまーす。

11月、曲集落に行ったら春に咲かせるレンゲ植えた田んぼ、ちゃんと電気柵してくれていた。コロナに負けてない集落の象徴として、きれいに咲いて道行く人を元気づけてくれたらいいな。

## おさらいと予習

### 前回

前回と前々回の2回、カラスの話。カラスの食べ物、生活とか、被害をとめれる、とめれないの【差】について考えてみた。それから、音、光（色）などはすべて慣れるまでの見かけの効果。使ってもいいけど慣れさせない工夫も大切。何より確実なのはネットだけど、ネットをかけることを前提にした野菜の畝たてや果樹の仕立て方に畑を改善しておくのがいいって話した。

### 今回

今回は、獣害対策だけでなく防災にも大切な冬にやっておきたい作業。動物の餌付けを進めるだけで

なく、停電の原因になったり、災害後の道路や電気の復旧工事を大幅に遅れさせ周囲にまで迷惑をかけるのが集落内の倒木。

家の敷地内に大木なんて茂っちゃうと倒れ方によったら家全壊みたいな被害にもなる。樹木っていつも日光の取り合いしてるから、遮るものがない屋根に届いた枝はどんどん家の上に茂り始める。

そのうち切ろうなんて先送りすればするほど庭木の伐採って大変なんだからね。

## 伐採に挑戦してみよう

幹の高さ5〜6メートル、直径15センチくらいまでの木ならチェーンソーなんか使わなくても案外自分で切れる。もし敷地や田畑の周辺に大木予備軍みたいな木があるなら、葉の茂ってない冬の間に思い切って伐採に挑戦してみよう。

今回は比較的まっすぐな幹が伸びる木の伐採初心者編。脚立や木に上がる高所作業はなし、だから、挑戦してみてください！

でも、いくつかの注意点を話しておくから絶対最後まで読んでからにして。

## 《心構え》

木を切るうえで一番大切なのは心構え。

### ①ケガしないこと

絶対に無理しない、手にあまると思う大木はプロに頼め。伐採はできるだけ一人ではやらない方がいいけど、二人以上でやるときは仲間にも絶対ケガさせないこと。

切り枝を「後で片づけよう」と足元に放置しないこと。

思わぬ方向に木が倒れてきてあわてて逃げようとしたけど枝にツマづいて・・・なんてこともあるし、剪定鋏とか小物行方不明になりやすい。

それから、後で詳しく話すけど、道具って大切。「こんな木倒すのムリッ」って途中であきらめてた母ちゃんに腰に下げてたあたしの生丸太切り鋸を抜いて「これ、使ってみて」ってさしでしたら「あっ、切れる、すごいすごい、やっぱり道具ねえ！」って。

ちよっとした道具あるだけで楽しく伐採できるからアツ、忘れてならないのが服装。チュニツクみたいなヒラヒラやおがくずがくっ付き

やすい素材は避ける。ま、長ズボン長袖の、例えば孫の体育のジャージくらい。チェーンソーや刈払い機使う時ほど重い服装でなくともいいけどヘルメット、手袋、ゴーグルは必ずつける。

それから、靴はおが屑入らないようカバーで覆った方がいい。

### ②道具の準備と点検

幹や太枝を切る丸太切り鋸、目の前の作業に邪魔な小枝を切るための剪定鋏と剪定鋸、それに枝を小切りする時便利な太枝鋏。手元で使う鋸や鋏はこれくらいかな。

あと、庭木の伐採でもっておきたいのが丈夫で刃が大きな高枝鋸。あたしは6メートルまで伸ばせる3段式のものを使ってる。枝に斜めにかけて切るからせいぜい5メートルくらいいまでしかうまく切れないけど、すごく便利。鋏や鋸は切れ味によって作業効率すっごく違ってくるから、目立てや刃研ぎをしっかりしておこう。それから、鋏や鋸は潤滑、浸透作用のある防錆剤をスプレーしておくことも忘れないでね。